

令和元年度 第5回政策討論会第一分科会要点記録
『企業誘致について』

令和元年 11 月 18 日（月）10 時 00 分～10 時 35 分

場 所 第一委員会室

出席者 西田武史（座長）、井舎英生（副座長）、
倉田賢一郎、田中市子、鳥野隆生、桑原佳一、松本妙子、鳥居宏次

本日の討論会では、テーマに対して明確な目的の共通認識を図るため、各委員が本市の魅力を活かした企業誘致について発表し且つ話し合った。各委員の発言要点は、以下の通りです。

- ① 東岸和田にやっと待望のホテルができ、とりあえずは岸和田に観光客が、増えてくることを期待できる。また、岸和田にはお城とだんじり会館などの観光に適した環境であるので、それを生かした取り組みも必要と考える。例えば、小学生や中学生の修学旅行や社会見学に訪れていただけるような環境作り。岸和田城周辺には、空き家寸前の庭付きの大きな屋敷もある。空き家など利活用し、民間に委託することも考えるべき。日本風の民泊などは外国人にも喜んでもらえるかもしれない。
- ② 企業誘致に関する本市の魅力ということですが、本市は大阪市内へ電車で30分程度とアクセスが良く、関空にも近い立地条件が最もアピールできるポイントではないかと思います。例えば全国の主要都市に本社がある企業が大阪に支店を作る際には、アクセスの良さが生きてくるのではないのでしょうか。本社と大阪支店との間を行き来するのに非常に便利ですし、転勤で大阪に住む場合においても同様の利点があります。また、空き家が多いことも魅力になりうると考えます。小さなオフィスであれば空き家を活用することでコストを抑えることができます。これらの点をアピールして企業誘致につなげると良いのではないのでしょうか。
- ③ 本市が持っている特徴や立地条件をもとに企業にアピールする事が重要であり、木材コンビナートへの企業誘致は、マリンレジャーが最も望まれる。11月1日より中央公園でフィッシングパークが開催されている。ミズノグループからの提案でプールの利用がない期間（11月～5月）、釣り堀としての活用である。木材コンビナートには広大な海面があり、その利活用がされていない。大阪湾には、レジャーとしての「釣り」を楽しむ一定の人口があり、レストランやコンビニ店を併設した「釣り堀」を提案して企業を募集する。

- ④ 祭りによる知名度、山から海まで豊かな自然、農林水産多岐にわたる地場産業は観光にも活用できる。祭り、子ども会から老人会まで町会などのつながりもあり、移住者を受け入れやすい。寂れた商店街などでもなんとかしようと活動している地域の人たちなど、市民活動が活発。こういった魅力を生かせる企業誘致を。
- ⑤ 本市には、駅が7ヵ所、高速道路のICは3ヵ所あり、これらの交通の便を利用した岸和田における広大な土地としては木材コンビナートであると思います。
- ⑥ 本市の魅力は、山から海までの自然な資源が豊富にあり、また、湾岸線や阪和道など交通アクセスにも恵まれ、地方からの輸送など利便性がある。食を生かした地方卸市場を行政と民間活力により企業誘致することを考える。
- ⑦ NHK Japan Today にて「岸和田だんじり祭り」が紹介されて世界的に都市の知名度が向上している。市の魅力は、市内各地域にある空き家と商店街の空き店舗である。その空き家・空き店舗を市と民間投資で改修して、外国人観光客インバウンド向けの滞在型ホテルを誘致する。また、ICT サテライトオフィス等を整備して、ICT ビジネス拠点を誘致する。実効性のある政策提言と議会として上程すべきである。
- ⑧ 本市の魅力は、お城と「岸和田だんじり祭り」のある歴史と文化の街であり、関西国際空港からも近くて観光には好条件な場所であるので、ホテルや民泊の誘致を積極的に行うべきと考える。ホテル誘致条例はあるのでこれを拡大或いは別立てで条例整備を行い、民泊も促進出来る様にしなければならない。また、企業誘致については、現行の誘致条例のまま行くのであれば阪南二区の整備促進や木材コンビナートなどの企業が来てくれる場所の整備をしなければならない。それ以外に、今の条例外にあたる中小企業、特に IT 産業を誘致できるような条例の整備も必要である。これらを進める事により、空き家や空き店舗の利活用が進み、商店街などの活性化にもつながる。

※ 次回は、企業誘致についての提言書（案）について話し合う。